

# 共に 「学び、思いやり、鍛え」 歩む

八代中学校「校長室だより」 No.16

校訓

自主 誠実 工夫

令和7年3月17日(月)

## 第77回八代中学校卒業生のみなさん、ありがとう!!

皆さんが本校に入学した3年前の令和4年4月。まだ、コロナ禍での入学式でした。いろいろな制限の中で中学校生活がスタートしました。2年前の令和5年5月に、新型コロナウイルスが5類感染症になってからは、少しずつ制限が減っていき、コロナ前の生活に戻っていきました。そして、昨年4月、私は、77年の歴史を誇る、ここ八代中学校、最後の3年生、皆さんと出会いました。始業式の時の皆さんの様子を見て、コロナの影響なのか「大人しいな。元気がないな。」正直、そんな印象でした。ところが、この印象は、すぐに消えていきました。毎日の授業、修学旅行、生徒会活動、集会活動、八西地区総体、県総体、総合的な学習の時間などで見せる皆さんの姿は、自主的で、生き生きとしており、皆さんの大きなパワーを感じました。

特に運動会の「てやてや」や「応援合戦」などで、リーダーとして必死に後輩に振りや掛け声を教えている姿には、心打たれるものがありました。それが1、2年生の姿勢を変え、八中生の「てやてや」や「応援合戦」を見る人を感動させる、パワーを持ったものに変化していきました。



また、文化祭では、合唱コンクールやミュージカルに向けて一生懸命練習したり、井上昌己さんのミニコンサートや八中ライブを中心となって盛り上げたりしました。その中心にいたのは、3年生の皆さんでした。リーダーを中心に力を合わせ、最上級生として、下級生を導いたり、全体をまとめたり、すばらしい文化祭を作り上げ、八代中学校の伝統をつなぎ、発展させてくれました。皆さんは、77年の歴史を誇る八代中学校最後の1年間を締めくくるにふさわしい、すばらしい卒業生であったと思います。本当に、ありがとうございました。



(文責 河野 靖)